令和８年 10 月　霧島市教育委員会定例会議事録（要約版）

日　時　令和８年 10 月 23 日　金曜日　午後２時 58 分～午後３時 40 分

場　所　国分シビックセンター行政庁舎　別館３階　教育委員室

出席者　池田教育長、鶴ケ野委員、谷口委員、福田委員、甲斐委員

上小園教育部長、林元次長兼教育総務課長、皆倉学校教育課長、松崎学校給食課長、東社会教育課長補佐（代理出席）、鮫島国分図書館長兼メディアセンター所長、山下国分中央高校事務長、伊澤溝辺地域振興・教育Ｇ主幹（代理出席）、有村横川総合支所長、山口牧園総合支所長、福永霧島地域振興・教育Ｇ主幹（代理出席）、栫福山総合支所長、横山教育総務課主幹、坂元教育総務課教育総務Ｇ長

計 14 人

傍聴者　0 人

議　事

議案等番号	件名	結果
報告第 26 号	霧島市教育委員会外部評価委員会設置規程の一部を改正する訓令について	承認
動議第５号	学校保健教育について	―
その他第 30 号	市長が定める告示の一部改正について（霧島市山村留学事業補助金交付要綱の一部改正）	―

１　教育長の活動報告（令和８年９月 24 日以降）

９月 25 日　第２回地区教頭研修会
９月 26 日　運動会巡回（木原小・中）
９月 27 日　運動会巡回（万膳小）
９月 29 日　【県市町村教育長会】第３回役員会
９月 29 日　【県市町村教育長会】第２回専門部委員会及び全体会
９月 30 日　市教委訪問（竹子小、安良小）
10 月２日　最終本会議
10 月４日　運動会巡回（川原小、中福良小）
10 月４日　全国高等専門学校ロボットコンテスト　九州沖縄地区大会
10 月５日　市教委訪問（木原小中）
10 月６日　京畿道（キョンギド）教育庁国際教育院と業務委協定式
10 月８日　計画合同訪問（高千穂小、永水小）
霧島市青少年海外派遣生帰国報告会
10 月９日　市教委訪問（向花小、小浜小）
「県立高校の将来ビジョン（素案）」に係る地区説明会（姶良蒲生公民館）
10 月 11 日　運動会巡回（持松小）
10 月 14 日　九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（佐賀市）16 日まで
10 月 17 日　体育大会、運動会巡回（陵南中、富隈小）
10 月 18 日　運動会巡回(竹子小・小浜小)
10 月 19 日　校長中間面談
10 月 20 日　第３回市校長研修会

10 月 21 日　計画合同訪問（国分西小）
10 月 22 日　鹿児島県小中一貫教育及びコミュニティ・スクール鹿児島県連絡協議会連絡会（出水市）
鹿児島県小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム（出水市）
10 月 23 日　教育委員会定例会

2　報告

報告第 26 号：霧島市教育委員会外部評価委員会設置規程の一部を改正する訓令

- スポーツ（学校体育を除く。）及び文化（文化財保護を除く。）に関する事務の管理執行権限が教育委員会から市長部局（スポーツ文化振興課）へ移管された実態に合わせ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条が定める点検・評価の趣旨に則り、現に教育委員会が所掌する事務に対応した委員構成へと規定に改めるもの。
- 質疑はなく、本件は承認された。

2　動議

動議第５号：学校保健教育について

⑴　学校保健教育の指導・助言方針

学校保健安全法に基づき、管理職研修会や養護教諭研修会を通じて次の４点を重点的に指導している。

- **生活習慣の改善と健康課題への対応**：朝食の欠食や睡眠不足の改善に向け、「生活リズムチェックカード」の活用、朝ごはん習慣・睡眠改善チャレンジ習慣を提案。就寝前のデジタル機器使用制限や、視力低下予防として「外遊びの推奨」「画面と目との距離を 30cm 以上確保」「30 分に１回の画面離脱・休息」を児童生徒及び保護者へ啓発。
- **歯・口の健康づくり**：市内全小学校でフッ化物洗口を保護者の事前同意の上で実施。中学校における治療率の低下が課題となっており、ブラッシング指導の定着と保護者への受診勧奨を継続。
- **専門的健康教育**：がん教育（外部講師招聘・専用冊子活用）、薬物乱用防止教育（学校薬剤師等と連携した医薬品の正しい理解・オーバードーズ対策）、性教育（産婦人科医・助産師の招聘、個別相談体制）を発達段階に応じて実施。
- **健康診断の円滑な実施と事後措置**：受診結果に基づく速やかな医療機関受診勧奨、特別な配慮を要する児童生徒に関する保護者との情報共有体制の整備。

⑵　食物アレルギー対応及びエピペン管理

- **給食対応の現状と補正予算**：食物アレルギー対象児童生徒数は増加傾向にあり（令和６年度：272 名、令和７年度：305 名、令和８年度：333 名）、医師の「学校生活管理指導表」に基づき保護者面談を実施した上で、除去食・代替食を提供。対応が困難な場合は家庭からの弁当持参（非喫食）としており、12 月議会にて非喫食の実情に応じた給付を行う補正予算を提案予定。
- **エピペンの管理**：養護教諭、管理職、担任が連携して保管場所（主に保健室）を定め、年度末に全職員を対象とした使用方法等の研修を実施して新年度を迎えている。

⑶　委員からの指摘と今後の対応

- **スマートフォンの利用実態と生活習慣**：小中学生のスマートフォン・ゲーム機所持率上昇に伴い、夜間の長時間使用による睡眠不足や朝起きられない事例が家庭内で深刻化しており、不登校の要因にもつながりかねないとの懸念が示された。家庭任せにせず、市独自で利用時間等の実態調査を実施し、具体的で実効性のある指導・対策を講じる必要性が確認された。
- **虫歯治療率の把握**：市全体の平均値や学校別の状況を把握するため、今年度末に調査を実施し、目標未達の要因を含めて分析・報告する。

3　その他

⑴　第 30 号：霧島市山村留学事業補助金交付要綱の一部改正

- 各実施団体における構成員の高齢化に伴い、従来の里親受け入れ体制の維持が困難となったことや、保護者が同伴する「家族留学」について通常の転入家族との公平性に課題が生じていたことを踏まえ、家族留学に対する支援を補助対象から除外（市長部局の移住・定住促進補助制度へ委ねる）するとともに、留学生不在時の実施団体向け運営費補助の支給上限期間も明確化を図った。
- 永水地区等における山村留学は複式学級解消等に大きく寄与してきた歴史があるものの、平成 27～28 年頃より里親受け入れが減少し、家族留学主体へ移行したことで地域・学校・家庭の連携形態に変化が生じていた。
- 質疑の後、本報告は終了した。

⑵　不登校児童の現状

- 9 月時点の不登校児童生徒数は、前年同月（令和 7 年度：小学生 91 名、中学生 186 名）と比較し、令和 8 年度は小学生 108 名、中学生 203 名と増加傾向にある。
- 前期のまとめとして全小中学校を対象に一人ひとりの状況調査を実施し、学校長からの聞き取りを進めている。年間 30 日以上の欠席者は増加しているものの、登校できる日数が増加傾向にある児童生徒も見られるため、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を継続する。
- 月例報告書において不登校の要因が「その他」として一括集約されるケースが多いとの委員からの指摘に対し、現在各校へ詳細な内訳を記載・報告するよう求めて整理中であり、取りまとめ完了後に改めて報告する。

⑶　次回の定例会について

- **開催場所・内容**：国分地区南部給食センター会議室にて「移動教育委員会」として開催。定例会審議終了後、給食センター内の見学（２階からの窓越し見学等）及び調理業務委託先、栄養教諭との意見交換会を実施予定。
- **次回定例会日程**：11 月 18 日（水）14:30 開会（議案多数のため通常より 30 分前倒し）。